

平成28年にお寄せいただいた 寄付金3,100万5,500円(1,927件) は、平成29年度の次の事業に活用しました！

成長する香川をつくるために 寄付額 5,260,100円

●「さぬきの夢」生産拡大事業

さぬきうどんのブランド化には、その原料となる本県のオリジナル小麦「さぬきの夢 2009」の作付面積の拡大を図る必要があるため、作付を拡大した農業者を対象に助成を行いました。「さぬきの夢 2009」を安定的に確保し、美味しいうどんが提供できるよう取り組みます。



●県産オリーブトップブランド確立事業



国内トップシェアを誇るオリーブ栽培の地位を継続し、一層の認知度向上を図るため、品質の高さや産地のこだわりなどを消費者の皆さんに直接伝えるPRイベントを県内や首都圏で開催しました。オイルのテイastingや対面販売などを実施し、多くのお客様から高評価をいただきました。

●香川印戦略的販路拡大事業

県産品のブランド力の強化と国内外での販路拡大を図るため、バイヤーとの関係強化等に取り組み、首都圏や関西圏、台湾・タイなど近隣アジア諸国やフランスにおいて香川県フェアを開催しました。



信頼・安心の香川をつくるために 寄付額 4,650,000円

●上下流連携交流支援事業



香川用水の恩恵や水資源の重要性についての認識を深めるため、県内の中学校が実施する香川用水関連施設の見学に要する経費を助成しました。この助成事業で、29校の生徒たちが早明浦ダムや池田ダムを見学し、水資源の大切さや環境との関わりについて学習しました。

●地域防災力強化促進事業

自主防災組織の活動が活発でない組織や未結成地区などへ活動に関する助言・指導等を行う「自主防災活動アドバイザー」の派遣を実施したり、広域化の取組みを行う自主防災組織等を支援するための助成を行いました。



●がん検診受診促進事業



がん検診を休日に実施したり、「初めての子宮がん検診応援事業」として、大学・専門学校等10校で、健康教育や検診車で子宮頸がん検診を実施するなど、がん検診を受診しやすい環境づくりのための事業に活用しました。

笑顔で暮らせる香川をつくるために 寄付額 12,508,400円

●かがわ県産木材プロモーション活動推進事業

小学生を対象に県産木材製品を製作するワークショップを開催するなど、県産木材の利用促進のための普及啓発の取組みに活用しました。



●「さぬきっ子学力向上」事業

児童生徒の学力や学習状況をきめ細かに把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるため、県内の小学校3年生～中学校2年生の全員を対象に学習状況調査を実施しました。

●瀬戸内国際芸術祭推進事業

平成31年4月に開幕する「瀬戸内国際芸術祭2019」に向けた準備を行ったほか、舞台となる島々の活性化を図るため、これまでの瀬戸内国際芸術祭のアート作品の継続公開や各種イベント等を実施しました。



●羽ばたけトップアスリート ジュニア育成事業

オリンピック等で活躍できる日本を代表するアスリートの輩出を目指して、ジュニア選手の発掘・育成強化や、中学校・高等学校の運動部活動の強化などを実施しました。

●香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業



1万人を超えるランナーが参加する香川丸亀国際ハーフマラソン大会の円滑な開催のための事業に活用しました。

●県庁舎東館耐震改修事業

建築家・丹下健三氏の初期の代表作である県庁舎東館について、その文化的価値に配慮しながら、耐震改修工事を実施しています(平成31年12月終了予定)。



用途をおまかせいただいたもの(指定なし) 寄付額 8,587,000円

●瀬戸大橋開通30周年記念準備事業

平成30年に瀬戸大橋が開通30周年を迎えるにあたり、ポスターやチラシ、広告付年賀はがき等の作成による広報啓発に活用しました。



●香川の希少糖ブランド化推進事業

「希少糖＝香川県」のイメージを定着させ、香川の希少糖ブランドの確立を図るため、国際見本市への出展や、バイヤー、シェフ、メディアを対象としたPRイベントを実施したほか、県内の小・中学生を対象に県産食材の魅力を伝える出前講座の中で希少糖を紹介しました。